

---

○議長（稲葉昭宏君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

（午後 2時05分）

---

◇ 佐 藤 作 行 君

○議長（稲葉昭宏君） 一般質問を続けます。

通告順位4番、佐藤作行君。

（7番 佐藤作行君 登壇）

○7番（佐藤作行君） 通告にしたがいまして、壇上より質問をいたします。今回は町民の皆様からの困っていること、また疑問に思っていることを中心に質問をさせていただきます。

1番として、有害鳥獣駆除対策についてでございます。

①今年、昨年以上に農作物に多大な被害を出している。特にイノシシ・シカについての26年度の駆除実績はどうだったのでしょうか。また、今年度4月から7月までの推移はどうだったのでしょうか。

②として、電柵による西伊豆町の事故があったわけですが、この事故調査を行ったということなのですが、問題点と防止対策等がありましたらお願いします。

③として、駆除費の増額の希望が多いが、その考えは当局にあるか。特にイノシシ・シカでございませう。

2番目として、日本で最も美しい村についてでございます。

①来年秋、当町において総会が開催されることになりましたけれども、そのアウトライン等、町長の考え方、また、これを町としてどういうふうを活用していくのかをお伺いします。

②この構成要件である棚田、桜葉、なまこ壁の振興、保全対策は。なまこ壁通りの常磐橋の漆喰の汚れが激しいとの声があります。先ほど町長の答弁で直すことになったということですので、大変よかったと思っています。

③総会の規模ですね。来客数、予算、プログラム等の構想はどうなっているのか。大まかによいと思いますが、よろしくお願いします。

それから3番、その他の諸問題でございます。

①フードバンクふじのくにが発足しまして、当町福祉協議会でも6月から利用が始まっていると聞いています。これからの方向と予算措置等の考え方はあるかどうか、お伺いします。

②町民からドクターヘリの夜間運行の要望がたくさんあります。町としての考え方、あるい

は西伊豆町と協力して実現の目途を付けて欲しいという声も多いのですが、ここらもお伺いいたします。

以上で、檀上よりの質問終わります。

(町長 齋藤文彦君 登壇)

○町長（齋藤文彦君） 佐藤作行議員の一般質問にお答えします。

1. 有害鳥獣駆除対策について。①「今年も昨年以上に農作物に多大な被害を出しているが、特にイノシシ・シカについての26年の駆除実績は。今年度の4月～7月までの推移は」②「電柵による事故調査の問題点と防止策」③「駆除費の増額の希望が多いが、その考えは。（イノシシ・シカ）」についてでございます。

1点目の駆除実績につきましては、26年度はイノシシが92頭、シカが298頭の合計390頭でした。また、27年度の7月までの実績は、イノシシが60頭、シカが52頭の合計112頭です。

続いて2点目の電気柵事故問題ですが、隣の西伊豆町で起こった不幸な事故をきっかけに、全国的に電気柵の緊急点検が行われ、松崎町でも電気柵の緊急点検を実施しました。点検総数は74件で、うち7件に電気柵設置危険表示の不備が見つかり、設置者に対して適切に表示するよう指導いたしました。

なお、西伊豆町の事故案件のような、電気事業法に違反した設置方法の電気柵はありませんでしたが、このような事故が二度と起こらないよう、電気柵設置費用助成申請者に対し、JAや販売業者、農林事務所と共同で、法令を遵守した安全かつ適切な電気柵の設置を指導しています。

次に、3点目の駆除費増額の考えについてですが、猟友会に支払う報奨金単価は、25年度から1頭当たり、サル2万円、イノシシ・シカが7000円となっています。しかし、24年度以前はサル1頭1万円のみで、イノシシ、シカには報奨していませんでしたが、猟友会との協議で今の単価に改定したものです。ご質問の増額希望ですが、25年度に改定したばかりなので今のところ増額の考えはありませんが、今後増額の必要性が生じた場合には検討したいと思います。

2. 日本で最も美しい村について。①「来年秋、当町において総会が開催されるとのことだが、そのアウトライン等、町長の考えは。また、これを町としてどう活用していくのか」についてでございます。

6月26日から28日に北海道美瑛町で開催されました「日本で最も美しい村」連合の総会において、2016年秋のフェスティバル（臨時総会）の松崎町開催が決定いたしましたことは、7月開催の議会全員協議会においてご説明をさせていただきましたとおりでございます。

連合に加盟し、2年余でフェスティバルが開催できることは、大変光栄であるとともに、身が引き締まる思いがいたします。

概要につきましては、連合の行事であるため、これまで開催している町村・地域において、基本的には同内容となり、連合の理事会や新規加盟を承認する臨時総会、基調講演、事例発表、交流会、担当者会議が予定されています。

フェスティバルには全国各地から多くの会員が来町いたしますが、この内容に松崎らしさや地域ぐるみのおもてなしを加えるとともに、松崎の魅力を余すところなく伝えられるよう準備を進め、皆様をお迎えしたいと考えております。

なお、連合には、北海道美瑛町をはじめ徳島県上勝町、島根県海士町など全国に名だたる町村・地域が加盟しており、フェスティバルの機会をとらえて、その先進的な事例について意見交換や情報交換を行い、今後のまちづくりにつなげていきたいと思っております。

②「この構成要件である棚田、桜葉、なまこ壁の振興、保全対策は。なまこ壁通りの常磐橋の漆喰が汚れが激しいとの声があるが」についてでございます。

町は、平成25年度に「石部の棚田」、「なまこ壁の建造物」、「塩漬けの桜葉」の3つの地域資源で「日本で最も美しい村」連合に加盟しましたが、どの資源も特徴的であるとともに、保全に向けて課題がある資源であります。

「石部の棚田」は、石部地区棚田保全推進委員会を中心にオーナー制度や常葉大学や企業・団体、地域の皆様の支援により、保全活動が進められています。また、平成23年度からは、静岡県で初となる地域おこし協力隊員を石部に入れ、委員会の活動の協力をしております。

今後も、棚田での作業やイベントなどを通じて石部の棚田の現状を多くの人に知っていただき支援、協力者を増やすとともに、大学や企業と連携して棚田の保全活用を進めてまいります。

「なまこ壁の建造物」につきましては、これまでなまこ壁技術伝承事業の実施や松崎蔵づくり隊の活動により保存を進めてまいりましたが、このほど「なまこ壁と鰻絵を未来へつなごうプロジェクト」による住民の皆様による活動も始まりました。今後、保存につきましては、景観ガイドライン策定に合わせて検討してまいります。

また、「塩漬けの桜葉」については、本年から「伊豆松崎桜葉振興会」が法人化して設立され、大島桜の苗木の育成、技術向上、高品質化や消費拡大を主な事業としてスタートしました。町としましては、生産育成部門に対する助成を予定しており、町特産品である桜葉の生産

振興について今後も援助してまいります。

これらの地域資源につきましては、幅広いご意見や多くの皆様のご支援、ご協力を賜り保全活用に取り組んでまいりたいと考えています。

なお、藤井議員の一般質問でもお答えいたしましたとおり、常盤橋の漆喰鰻絵や浜丁橋につきましては、修繕を発注しております。

③「総会には、ア、来客数、イ、予算、ウ、プログラムの構想は」についてでございます。

「日本で最も美しい村」連合は、自治体・地域会員54団体、企業会員86団体、準会員564名の704団体・個人が加盟しております。2015年4月現在です。

これまで開催の秋のフェスティバル（臨時総会）への参加者は、2012年の宮崎県高原町で271名、2013年の島根県海士町で215名、2014年の群馬県北塩原村で312名となっており、300～400名の参加が見込まれます。

開催に係る費用につきましては、連合からの補助はなく、参加費と町の一般財源からの支出となり、本年秋に開催の木曽町では一般会計に400万円の予算措置がされているとのことでございます。

フェスティバルの内容につきましては、先程のご質問でも回答させていただいておりますので省略させていただきますが、具体的な内容につきましては、議会の皆様にご参加いただく、10月の長野県木曽町でのフェスティバルに職員などを参加させ、運営方法や内容について勉強し、進めていくこととしております。

なお、静岡県内35市町で「ふじのくに美しく品格のある邑づくり」連合で、農山漁村の地域資源を守り活用した美しい村づくりを推進しておりますが、県をはじめ関係団体の皆様にもご協力いただくとともに町内の各種団体、住民の皆様の力もお借りし、フェスティバルの開催に万全を期してまいりますので、ご理解、ご協力をお願いいたします。

3. その他の諸問題。①「フードバンク静岡が発足し、当町福祉協議会も利用が始まっているが、これからの方向と予算措置等の考えは」についてであります。

フードバンクについては佐藤議員をはじめ、皆様のご尽力により開始されたもので深く感謝しております。

おかげをもちまして、平成27年6月から現在まで2名の方が述べ4回利用し、困窮した状況を乗り越えることができました。

配布する食材についてはフードバンクふじのくにが保管管理しており、配布に要する費用が

発生する場合は、町でも負担することを申し出ましたが、当面の間はフードバンク側で負担していただけることになっています。

今後、利用者が増加し、配布に要する費用等を求められた場合は予算措置をいたしますし、逆に町内で余っている古米などをフードバンクに送ることなども企画し、この制度がより充実するよう協力していきたいと考えております。

②「町民からドクターヘリの夜間飛行の要望が多数あるが、町としての考えは。西伊豆町と協力して実現のメドを付けて欲しいがどうか」についてであります。

脳疾患などの緊急手術ができる病院が近隣市町にないため、ドクターヘリを要望することは当然で、賀茂健康福祉センターや県地域医療課に伊豆南部の夜間運行に向けて調整していただきましたが、照明のない海上や山間地が飛行経路となり安全性が確保できないとともに、ヘリポート整備に約3億1000万円、年間運行経費約6億8000万円を要するとの回答でした。

また、順天堂病院には運行支援施設がないため夜間運航は不可能で、ヘリポートが確保できても着陸は浜松の聖隷三方原病院となります。救急要請から病院到着まで1時間50分を要するとのことで、救急車で国道136号利用による順天堂静岡病院搬送と同程度の時間となります。

このため、今後も夜間救急は陸路搬送となりますが、脳梗塞などは時間との闘いになるので、土肥、船原峠間の道路整備を少しでも早く完了させるよう要望していくとともに、夜間飛行の可能性についても研究してみたいと思います。

以上でございます。

○7番（佐藤作行君） これより一問一答形式でお願いします。

○議長（稲葉昭宏君） 許可します。

○7番（佐藤作行君） はじめに、有害鳥獣駆除対策についてお尋ねいたします。

今回電柵の調査、これは全部行ったということなんですが、特に明白な危険なものはなかったということで安心しているわけなんですが、これから今後毎年1回とか2回とか、定期的にする予定はあるのかどうか、ちょっとお聞かせいただきたいと思います。

○産業建設課長（斉藤昌幸君） 今回、このあいだ西伊豆町で起こった不幸な事故を契機に緊急点検をしたということでございます。これに関しましては、毎年継続的に、定期的に調査を行うかどうかについては、まだ県との話し合いがないものですから、今のところは具体的には、調査をするということはまだ未定でございます。現段階では未定でございます。

○7番（佐藤作行君） 引き続いて、シカの駆除費がですね。県の補助金と町の補助金と少し

金額が町の方が低くなっていると思ったんですが、そこらについて、意図があるのか、あるいは将来的に揃えていくような気持ちはあるのか。

それから、もう1点、シカを捕ってもあまり食用には適さないということで、あまり獲らせていないということなんですが、これは伊豆市なんかの例をとりますと、ちゃんとした食肉処理場がありまして、1日4頭しか処理できないということなんですが、これをちゃんと処理しますと、シカ肉のヒレとかなんとかで結構な食用になるということで、その食肉処理場なんかの建設の予定とかなんとかというのは考えていないかどうか、お聞きします。

○産業建設課長（斉藤昌幸君） 県の方の管理捕獲に関する奨励金の単価につきましては、シカのみを捕獲するというございます。

当然メスの方が子どもを生みますので、この辺の単価の方が1万2500円、オスの方が8500円ということで、これは県の捕獲実績に基づいて、県から県の猟友会、さらには、地域の猟友会に流れるという形になっております。

ただ、現段階では、我われの方はシカが7000円ということで、25年度に設定したばかりでございますし、また、今後は増額については、当然のことながら考えていかなければなりませんけれども、やはりその周りの賀茂郡内のほかの市町の動向とか、その辺の意見調整も踏まえた上でなければなかなか思い切って捕獲単価をすぐにどうこうするということは無理だと思っておりますので、その辺は引き続き継続して、研究していきたいなと思っております。

○町長（齋藤文彦君） 2番目の質問についてですけれども、今のところ町では考えていません。

○7番（佐藤作行君） もう1点、このシカの駆除の補助金なんですが、伊豆太陽農協なんか置いてあるのは、補助金なんかを設定しているようなんですが。過日、農協の方に聞きましたら、松崎町からなかなか請求があまり来ないよという話があるんですが、猟友会なんかには、町の方から教えているんでしょうか、それらは。とりあえずお伺いします。

○産業建設課長（斉藤昌幸君） この辺に関しましては、私どもの方から特に伊豆太陽さんの方に連絡等はしておりません。直接猟友会の方から実績報告が上がって、JAの方で独自で対処しているわけだと思えます。

我われの方は、いわゆる管理地域から要望が上がって、駆除してくださいよというその実績に基づいた頭数について7000円、2万円を支払っているということです。JAの方で頭数を教えてということはございません。猟友会の方で独自にやっているかと思えます。

○7番（佐藤作行君） わかりました。そこらは、行政と農協とは、全く違うということはこちらでも理解できるんですが、シカは西伊豆から東伊豆から南伊豆の方に動くわけですので、それで、やっぱり総頭数を少なくするという事はやっぱり被害を減少することにつながると思いますので、そこらは行政と団体なんかと連絡を密にして、なるべく効率よく捕獲できるように協議なんかもしていただきたいと思います。そこらの考え方はどうですか。

○町長（齋藤文彦君） 佐藤議員のいうように、そのようにやっていきたいと思います。

○7番（佐藤作行君） それでは、その次に移ります。

2番目の「日本で最も美しい村」についてです。現在なまこ壁の保全なんかについて、あるいは棚田なんかについてもかなり町長は一生懸命にやられていて、その努力に対しては敬意を表していますが、特に常盤橋の漆喰の保全には、もう発注したということで大変感謝しております。

それで、これに加盟しているんですが、先日、4日に美しい村の協議会があったわけなんですが、私は議会から担当ということで私も出席させていただいて、役員体制だとか、もろもろ話が出たんですが、その中に景観ガイドラインという話が出たんですが、これは、新聞なんかの報道によりますと、建物の保全ですか、景観、高さ制限なんかも出てくると思うんですが、そこらのちょっと話を概要でよろしいですので教えていただきたいと思います。

○企画観光課長（山本 公君） 平成25年に「日本で最も美しい村」に入りました。棚田ですとか、なまこ壁の景観ですとか、そういうものを残していく、活用していくということがありまして、これまでも花いっぱい運動を進めていく中で、美しい景観あるいは美化活動を進めています。

特にそういう景観について、ルールというか、そういうものがなかったわけですので、加盟に合わせまして、そういう景観のガイドラインを・・・、将来的には景観計画あるいは景観条例・・・、景観行政団体になるわけですがけれども、景観条例みたいなものを作って、ある程度規制みたいなのところまでしていくのかなと思いますけれども、ガイドラインも策定をみながら、また町民の皆さんとも意見交換をしながら進めてまいりたいと考えています。

○7番（佐藤作行君） まだ具体化していないということで、ここでは了承いたします。また新しい動きがありましたら、会議の中なんかでもお知らせいただければと思っております。

3番目の諸問題についてです。「フードバンク静岡」とこれは書いてありますが、正確には「フードバンクふじのくに」だそうです。ふじのくにが発足しまして、あちこちで希望が

ありましてやっているわけなんです、物資なんかも順調に集まっておりまして、拡大にも応じられるということなんです。これから数年先になりますと、やっぱり生活保護世帯あるいはそれに準ずる世帯なんかが増えまして、なかには大変な方も出てくるんじゃないかと思うんですが、そこらの拡大に備えて体制づくりというんですか、そこらは町長、考えているんですか。

○町長（齋藤文彦君） 先ほど壇上で、今まで2名の方が4回利用したということがありますが、これからの生活保護を受けている方は50人近くになるということになりますので、これから増えてくる可能性があると思いますので、先ほど答弁しましたけれども、費用等を求められた場合は、予算措置をしてちゃんと応えていきたいなと思っていますところでは。

○7番（佐藤作行君） もう1点、これは向こうから聞いた話なんです、フードバンクは大規模災害時あるいは水害時等災害があった場合、対応できるということですので、またそこらの災害のプログラムにもこれは組み入れたらどうかと思うんですが、そこらの考え方はどうでしょうか。

○総務課長（山本秀樹君） フードバンクの関係につきまして、災害の方にもということなんです、今現在、どのような形で支援がされてくるのか、その辺の部分についてもまだはつきりしたものが我われの方には示されていませんので、具体的な対応というのはまだできていないというような状況にあります。

ただ、今の災害時の備蓄食料等で通常の災害であれば、ある程度は対応できる数は確保してありますので、早急にフードバンクから支援をとるところまではいかないのかなと思います。

ただ、フードバンクの制度自体がもう少しはっきりと示されるような形ができまして、その支援体制が迅速に行われるとか、そういうようなバックボーンが確保されているのであれば、その辺は検討する余地はあるのかなと思います。

ただ、現状では今のところ備蓄している食料で通常の災害であれば、ある程度は対応できるということなので予定はしておりません。

○7番（佐藤作行君） ありがとうございます。聞きたいことは言いましたので、早いんですが、ここで終わらせていただきます。

○議長（稲葉昭宏君） 以上で佐藤作行君の一般質問を終わります。

暫時休憩いたします。

(午後 2時34分)

---